

中部ゴルフ連盟

HOME

[中部アマチュア](#)[中部ミッドアマチュア](#)[中部女子アマチュア](#)[中部シニア](#)[中部オープン](#)[中部グランドシニア](#)[中部ミッドシニア](#)[中部女子シニア／
中部女子グランドシニア](#)[中部インタークラブ](#)[佐々部杯](#)[中部アンダーハンディ
キャップ](#)[中部小学生](#)[中部ジュニア](#)[中部学生](#)[中部シニアオープン](#)

過去の競技

[2019年](#)[2018年](#)[2017年](#)[2016年](#)[2015年](#)

競技情報

中部アマチュア本戦（1 R成績表）（記事）

平成30年度（第51回）中部アマチュアゴルフ選手権競技

開催日／平成30年5月29日（火）・30日（水）・31日（木）・6月1日（金）

会場／岐阜関カントリー倶楽部（東コース）

天候／第1日：曇り

[第1日成績表（PDF）](#)

初日首位は、4アンダーの2人。

日大4年の永井直樹選手（緑ヶ丘）と、美濃加茂高2年の黒田智之選手（美岳）



今年の中部アマチュアゴルフの王者は誰か！？！

CGA主催競技の男子アマチュアの最もビッグな大会がスタートした。今年の会場は、岐阜県の岐阜関カントリー倶楽部（東コース）。2016年に中部オープン、2017年に日本オープンが開催された名門コースだ。7256ヤード、パー72。450ヤードを超えるパー4が4ホールあり、しかも、今大会のセッティングはラフも70ミリと深く立っている。攻略の基本はまずフェアウェイキープである。

そんなタフなコンディションでスタートした第1ラウンド。首位に立ったのは、4アンダーでホールアウトした日大4年の永井直樹選手（緑ヶ丘CC）と、美濃加茂高2年の黒田智之選手（美岳CC）の2人だった。ともに、4バーディノーボギーの素晴らしいゴルフを展開。好スタートを切った。

後に続くのは、3アンダー69で、桂川有人選手（美濃白川IGC・日大2年）と大内智文選手（中部学連・中部学院大4年）の2人、さらに1打差の2アンダー70には中山絹也選手（中部学連・中部学院大2年）、横井優星選手（中部日本バブ・福井工大2年）、白石大和選手（名倉CC・大阪学院大4年）の3人が続いている。上位を若い世代が独占する中で、40歳の上田崇宏選手（関ヶ原CC）が73をマークし、13位タイで初日を終えている。

また、昨年優勝の青山晃大選手（中部日本バブ・中京大1年）は80ストローク（91位タイ）と出遅れた。

★ジュニアと学生が108人と圧倒

愛知、岐阜、三重、北陸の4地区で行われた予選参加者は、388人。激戦を勝ち抜いた本戦出場者170人の内訳は、次の通り。

中学生7人、高校生49人、大学生52人。

20歳代4人、30歳代9人、40歳代32人、50歳代14人、60歳代3人。

最年少は13歳、最年長は67歳。



<インタビュー>

◆首位の4アンダー

永井直樹選手（緑ヶ丘CC・日大4年）



68＝34、34

朝7時10分、1組目のスタートだった。7番H、9番H、12番H、18番Hで4バーディ、ボギーなしでホールアウト。「今日はロングでは思うようにいかず。アイアンが良かったし、短いパットを外さずにパーセーブができました」。180センチ、83kgの恵まれた体格を生かし、飛距離は280から290ヤード。昨年の関東会長杯で優勝し、「その頃からアイア

ンが良くなってきた。バットイングも合わせて調子が上がってきた」のだが、日大ゴルフ部の中ではこの春ポイントで11人目となり、レギュラーから外れた。「団体戦は出られないので、個人戦で結果を出したい」と永井選手。残り3日間、最大限のパフォーマンスを！！

★今回、日大からは、永井選手のほか、今野選手、大澤選手、桂川選手、木村選手、尾関選手と6人が参戦している。そのうち、今野、大澤、桂川、木村の4選手がレギュラー入り。中部出身者の活躍はなかなか頼もしい限り。「今、日大が騒がせてるので、明るいニュースを出せたらいいな」。

黒田智之選手（美岳CC・美濃加茂高2年） 68=34、34

高校2年の黒田選手も4バーディだった。1番Hをバーディすると、2番Hは「たまたま」ショットがピン手前3メートルにつき沈めた。11番Hはピン奥4メートル、15番Hは手前2メートルが決まった。アプローチしてバーを奪ったホールも多かったが、寄せられる方に外れたから気持ちは楽だった。「ひたすら、しのいで回りました。100点に近いラウンドだったと思う。はじめから、バーオンすることを考えてなくて、外れてもなんとかするように、ということ意識して、方向を気にしました。」去年、1打足らずで逃した日本アマを今年こそ。



◆3位タイは3アンダー69

桂川有人選手（美濃白川GC・日大2年） 69=35、34



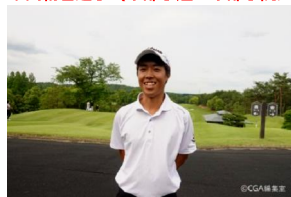
4バーディ 1ボギーだった。「ラフからグリーンが止まらないので、フェアウェイキープを心がけていたら、流れが悪くならずにすみしました。ティーショットはよかったのと、我慢してバーキープし続けたら、最後の17番H、18番Hで連続でバーディがきました」。まだ免許が取れていなくて送り迎えは祖父にお任せ。今日はお友だちが応援に駆けつけていました。

大内智文選手（中部学連・中部学院大4年） 69=34、35



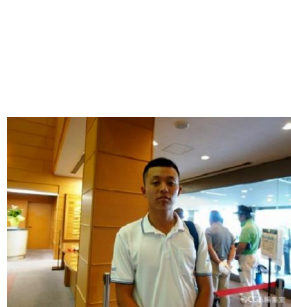
3バーディだった。「今日は24パットでほぼほぼ拾ったんですが、8番Hは4メートル、16番Hでは奥からのアプローチが決まったり。パットがよかった。その分ショットがひどかった。ラフばかりでした。しのぎしのぎでした。4日間最後まで気を抜かず頑張ります！！」。

中山絹也選手（中部学連・中部学院大2年） 70=37、33



日曜日まで開催されていたミスノオープンでローアマを獲得し、岐阜に戻ってきた中山選手。「ミスノオープンで振り回したのでスイングがおかしくなってしまうので、今日はあまり振り回さず、安全に抑えめにいきました。それに、先週はものすごく長かったので、セカンドをアイアンで打てたのが嬉しかった」と6バーディ4バーディを振り返った。

横井優星選手（中部日本パブ・福井工大2年） 70=36、34



後半に3バーディ 1ボギーだった。「前半は曲がっていたけど、バーで耐えられたので、それが後半につながった感じです。ドライバーを前半に4回使ったんですが、右ラフが多くて、途中で3Wに変えました。全体としてはショットは悪くないので、フェアウェイをキープすればいいと考えて回りました。最終日に最終組にいられるようにしたい」。横井選手は、この5月の東海テレビ杯で優勝、秋のトップ杯東海クラシックへの出場が決まっている。

白石大和選手（名倉CC・大阪学院大4年） 70=35、35

3バーディ 1ボギー。「ピンチはなくて、耐えるところは耐えて、いいゴルフができました。同組のみんなも良くて、いいリズムで回れました。4日間、アンダーで回れたらいいですね」。

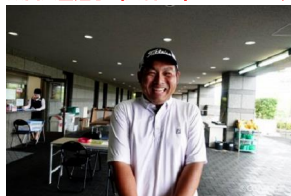
◆ミッド世代も負けてない

上田崇宏選手（関ヶ原CC） 73=36、37



前半1バーディ1ボギー、後半は2バーディ3ボギー。「18番Hでなんとかイーブンで回りたくて、振ったら、右に行ってしまった。あっちに行ったらノーチャンスなんですよ。残念」と振り返った上田選手は40歳。堂々のミッド世代である。2年前にこの岐阜関ヶ原CCで開催された都道府県ゴルフ全国大会で個人優勝した上田選手、「今年はこの中部アマに照準を絞って、2月から競輪選手と一緒にトレーニングを積んできました。だから、体力は大丈夫。ここはゲンもいいので最後まで諦めないで攻めていきたい」。

太田大士選手（六石GC） 75=36、39



「初夏の珍事です」と開口一番。「前半曲がらなかったこと、バットも良かった。背筋伸ばすことと、あまり振りすぎないことを意識して回ったんですが、それがうまく行った。スコアは今年のベストです。ずっと調子が悪くて、70台も1ヶ月ぶり、それくらいひどかった。久々にいいゴルフができて嬉しいです」。

★60代、50代も健在！！



<会場風景>



Copyright(C)2012 CGA All Right Reserved. 無断複製転載を禁ず

もっと多くの方々にゴルフの本当の楽しさを伝えたい、それが私達の願いです。

中部ゴルフ連盟

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-26-25 メイフィス名駅ビル5階502号室 TEL. 052-586-1345



[個人情報保護](#)